



熊本教区教務所発第 158 号

2025(令和 7)年 8 月 13 日

ご 住 職 様

熊本教区教務所長
大 辻 子 順 紀



同 朋 教 学 部 部 長
橘 孝 昭

「同朋サロンー人間と差別を考えるつどいー」開催のご案内

謹啓

立秋の候、貴台にはご健勝にてお念仏ご相続ならびに実践運動の推進にご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素より「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）」にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、この度「人間と差別」をテーマとして、学習会「同朋サロン」を開催いたします。つきましては、繰り合わせご参加いただきたく、下記の通りご案内申し上げます。

記

1. 日 時 2025(令和 7)年 9 月 11 日 (木) 15:00～16:50
2. 会 場 熊本教区会館 2 階大広間／各所(オンライン)
3. 講 題 「狭山事件について学ぶ」
4. 問題提起者 磯田浩隆さん (くまもと狭山事件を考える住民の会 代表/曹洞宗人権啓発相談員/曹洞宗泰巖寺住職)
5. 参加費 不要
6. 参加方法 電話または下記空欄に名前のみ記入し、ファックスにて、9月9日(火)までに熊本教務所(担当：家郷)までお知らせください。
また、オンライン(zoom)による参加が可能です。オンライン参加希望者は下記空欄に名前と併せて、メールアドレスの記入をお願いします。

7. 日 程

15:00～15:10	開 会 式	(10分)
15:10～16:10	講 義	(60分)
16:10～16:40	意見交換	(30分)
16:40～16:50	閉 会 式	(10分)

(切り取り線)

「同朋サロン」参加申込書

氏 名
メールアドレス :

オンラインからの申込はこちらから行えます☞



以上申し込みます _____ 組 _____ 寺
申込先：熊本教区教務所 (FAX:096-345-9167)



熊本教区教務所発 164 号
2025(令和 7)年 8 月 13 日

ご 住 職 様

熊本教区教務所長
大 辻 子 順 紀



第 4 5 回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要「平和の鐘」について

今般、「第 4 5 回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」において、悲惨な戦争を再び繰り返さず、恒久平和への願いを新たにするため「平和宣言」を行い、「平和の鐘」を撞くこととなりました。

つきましては、貴寺院におきましても、同法要の「平和の鐘」の時刻にあわせて、梵鐘（または喚鐘など）を撞いていただきますようお願いいたします。

また、法要当日の墓苑の様子を宗派公式 YouTube チャンネル及び宗派ホームページ、熊本別院本堂(インターネット中継)で配信しております。インターネット配信の情報については、下記 URL に掲載しておりますことご案内申し上げます。

記

1. 法要日時 9 月 1 8 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 1 5
 ※「平和の鐘」開始時刻 1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 3 5

2. その他 ①各組長に組内実施寺院数の報告依頼をいたしておりますので実施された寺院におきましては貴組の組長までご報告ください。
 ②「平和の鐘」チラシ別紙。
 ③宗派ホームページ「最新ニュース」URL
 (<http://www.hongwanji.or.jp/news/>)
 ※上記ページ内の「第 45 回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」より、法要当日の様子を視聴することができます。
 ④また、インターネット環境がない方、操作が不慣れな方への対応として、法要当日、本願寺熊本別院本堂にて法要の様子をインターネット中継いたします。
 9 月 1 8 日(木) 午後 1 2 時 5 5 分より会場を開設しておりますので、ご都合のつかれる方はご参加ください。

以 上

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

平和の鐘

毎年9月18日、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で修行される「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」では、宗門として恒久平和の願いを新たにすため、「平和の鐘」を撞きます。「讃仏偈」に「響流十方」とお示しのように、仏の教えが十方に響き渡ることを願い、すべての戦没者を追悼し、共に平和への誓いを新たに――。

2025(令和7)年 9月18日 木

13:20 - 13:25

同日、同時刻に各寺でも梵鐘など鐘を撞くことで、千鳥ヶ淵戦没者墓苑から発信する平和への願いを全国にひろげる「平和の鐘」の取り組みにご協力ください。

※実施内容については各寺院にお問い合わせください。

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要の願い

私たち浄土真宗本願寺派では、戦後、本願寺ならびに大谷本廟において、「戦没者追悼法要」を修行してまいりました。あわせて1981(昭和56)年から、毎年9月18日に、東京都千代田区にある国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、「全戦没者追悼法要」をお勤めしてまいりました。

「全戦没者」という言葉には、人類が繰り返してきた戦争によって、尊いいのちを失われた世界中の全ての戦争犠牲者への思いが込められています。

また、毎年お勤めしている9月18日は、15年にわたる「アジア・太平洋戦争」につながっていった「満州事変」の発端である「柳条湖事件」が1931(昭和6)年に起こったその日でもあります。

国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑は、1959(昭和34)年に建てられた国立の墓苑で、主に「アジア・太平洋戦争」で亡くなられた軍人から民間人にいたるまでの、ご遺族のもとに帰ることのできなかった約35万の方々のご遺骨が納められています。

それらの経緯からしても、この墓苑は、国籍・思想・信条などを超えて、全ての戦没者を追悼するに相応しい厳粛にして大切な場所であると言えます。

1995(平成7)年4月15日に本願寺で厳修された「終戦50周年全戦没者総追悼法要」に際してのご親教でご門主は、「宗祖の教えに背き、仏法の名において戦争に積極的に協力していった過去の事実を、仏祖の御前に慚愧せずにはおれません」と、宗門の戦争にかかる責任を明らかにされ、平和を求める念仏者としての決意を表明されました。

また、2004(平成16)年5月24日には、総局が、「戦後問題」に関する「宗令」「宗告」を發布し、宗門として改めて「宗門における『戦後問題』への対応に関する総局見解」を示しました。その中で「戦時下における宗門は、政治の全体主義化・軍国主義化とともに厳しい法の統制を受けながら、国策としての戦争や国体護持に協力してきました」とし、「このうえは、『世の中安穏なれ』『仏法ひろまれ』との宗祖の遺訓を体し、過去の歴史への反省に立って、戦争のない平和な世界を築いていくため、世界中の人びととの交流と対話をとおして、非戦・平和への取り組みをさらに進めていく所存であります」との決意を表明しました。

そうした立場から、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で追悼法要を修行することは、日本の侵略戦争に協力した私たちの宗門の過ちを反省し、慚愧の思いをもって、戦争のない世界を築くという願いのもと、平和への誓いを新たにすることに他なりません。

本法要を機縁として、全ての戦没者の方々を追悼するとともに、今後ともそれぞれの立場で非戦平和への取り組みを進めさせていただきます。

2025（令和7）年8月8日

ご 住 職 様
単位代表者 様

熊本教区教務所長 大辻子順紀
熊本教区仏教壮年会連盟理事長 陣内 巧
〔公印省略〕

浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い

「第25回仏教壮年鹿児島大会」開催について（再案内）

謹啓

厳暑の候、皆様には益々ご清栄にてお念仏ご相続のこと慶賀に存じあげます。
また当連盟の活動について、ご理解ご協力賜りますこと誠に有り難く深く感謝申しあげます。

さて、先般は「第25回仏教壮年鹿児島大会」開催に際し、参加奨励いただき誠にありがとうございます。しかし、未だ当教区参加目標人数（120名）に達しておらず、参加奨励の依頼をさせていただくこととなりました。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、ご参加、並びに再度の参加奨励いただきますようご依頼申しあげます。

合掌

記

1. 開催要項 別紙をご参照ください。
2. 開催期日 2025（令和7）年10月19日（日）
3. 会 場 川商ホール（鹿児島市民ホール）第1ホール
4. 募集人数 120名
5. 参加費 * 大会のみ 一人4,000円
* 教区行程 一人36,000円（大会参加費含む）
6. 申込方法 同封の申込用紙に記入の上お申込ください。
参加費は申込代表者様宛に後日依頼申しあげます。
7. 申込締切 2025（令和7）年 **8月29日（金）**
8. その他 教区行程につきましては、別紙要項をご清覧ください。

※ご不明な点がございましたら教務所（楢林）までご連絡ください

熊本教区教務所 TEL096-343-8283 FAX096-345-9167

以上

【FAX.096-345-9167】

締切日：2025年8月29日(金)

熊本教区仏壮連盟事務局 宛

浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い「第25回仏教壮年鹿児島大会」

参加申込書

組名・寺院名

組 寺

申込代表者氏名

電話番号

No.	組名	所属寺	名前	性別	年齢	連絡先	参加方法(いずれかに○)
1							大会のみ・教区行程
2							大会のみ・教区行程
3							大会のみ・教区行程
4							大会のみ・教区行程
5							大会のみ・教区行程
6							大会のみ・教区行程
7							大会のみ・教区行程
8							大会のみ・教区行程
9							大会のみ・教区行程
10							大会のみ・教区行程

通信欄

参加人数 名 × 大会参加費 4,000円 = 合計金額 円

参加人数 名 × 行程参加費 36,000円 = 合計金額 円

第25回 浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い 仏教壮年鹿児島大会



写真協力：鹿児島観光コンベンション協会

◆ 大会テーマ ◆

「いつくしみ 慈しむ」

～まことのいのち ためさるとき～

期日 2025(令和7)年 **10月19日(日)**
9:00〈受付〉～15:15〈閉会〉

会場 **川商ホール** (鹿児島市民文化ホール)
鹿児島市与次郎2丁目3-1

主 催／浄土真宗本願寺派九州地区仏教壮年会連盟
担 当／浄土真宗本願寺派鹿児島教区仏教壮年会連盟

25 KAGOSHIMA

浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い 第25回仏教壮年鹿児島大会 —開催要項—

趣旨 (要約)

「涙石 涙に濡れて 黙しけり まことのいのち ためさるとき」

この句は、鹿児島別院にある「涙石」をみられた、本願寺派勧学の梅原眞隆師が詠われたものです。

親鸞聖人が顕らかにされた浄土真宗のみ教えは、ここ鹿児島でも途切れることなく続いています。その道は平坦ではありませんでした。室町・戦国時代に近畿、北陸・東海地方では一向宗(浄土真宗)の一揆が起こりました。僧侶、農民、名主、地侍が連合して守護大名・荘園領主と戦い、それを恐れた薩摩藩は1597年から279年もの間、一向宗を禁止しました。掟を破った者は摘発を受け、弾圧され続けました。このような中でも人々は、人里離れた洞窟などで信仰を守ってきました。いわゆる「かくれ念仏」です。

今大会は、テーマを「いつくしみ 慈しむ」としています。

親鸞聖人は、南無阿弥陀仏とは「まかせなさい」という、阿弥陀如来から私に向けての呼びかけであると、顕らかにしてくださったのです。これは、阿弥陀如来が、九州の方々だけでなく日本中・世界中の真宗門徒をいつくしみ・慈しんでくださっているということです。

念仏の道は「おかげさま」と生かされる道であり、「有難う」と生き抜く道でもあります。短い時間ではありますが、朋に学び、朋にお念仏申し、その慶びを多くの方々へ伝えていける大会になればと願っています。

記念講演①



星野元興 師

「江戸時代、さつま門徒は何を信じたのか
～かくれ念仏信仰とは～」

- ・1974年生
- ・鹿児島大学大学院博士課程修了 博士(学術)
- ・浄土真宗本願寺派鹿児島教区伊佐組大嵩寺住職
- ・志學館大学非常勤講師
- ・論文・「過疎地域における寺院経営の変容と現状
：鹿児島県の甑島と種子島の事例を中心に」
・『琉球の隠れ念仏』- 仲尾次政隆の足跡を訪ねて」
など

記念講演②



ソナム・ワンディ・ブティア 師

- ・1973年生
- ・1993年3月3カ月の瞑想行を終え、ディプラーの称号(日本で言えば阿闍梨)を授与される。
- ・1995年22歳の時、シッキムの仏教学校の校長となる。
- ・1998年25歳の時、インドのブッダガヤで向坊弘道師と劇的な出会いをする。向坊師の説く他力の教えに惹かれ、浄土真宗へと転向する。
- ・1999年向坊師の導きでグリーンライフ仏教研究所ネパール(カトマンズ本願寺の前身)の所長となる。
- ・2003年もっと浄土真宗を勉強したいとの願いは強く、来日して京都へ。30歳の時、京都中央仏教学院に入学。浄土真宗に皈依し、得度する。
- ・2004年浄土真宗本願寺派の教師、開教使を取得。
- ・2006年ネパール国カトマンズ本願寺の所長となる。

記念行事

雅楽

【南隅組雅楽会】

昭和の後半、大隅半島南部・南隅組の幾つかの寺には、雅楽をたしなむ門徒があり、藤園恒弘住職が若い世代に声を掛け、練習を重ね、平成2年に浄福寺雅楽会が再結成されました。同住職が組長を務めた平成15年からは、広く南隅組の仏教壮年会や門徒推進員にも呼び掛け、練習を重ねており、各お寺の楽人さんとして育ってきつあります。メンバー10名ほど。



シマ唄

【瑠璃はぶいら】

奄美のシマ唄・サンシン・チチン・シマ踊りが大好きな、お気楽チーム「瑠璃はぶいら」。平成8年に結成。ユネスコ世界自然遺産に登録された奄美の大自然と島々を取り囲む大海原の瑠璃色と、奄美の方言で蝶を意味する「はぶいら」とを重ね合わせました。奄美では蝶に魂が宿るとも言われており、シマ唄を通じて御縁のあった方々に、シマ唄の想いが届くようにと願っています。



和太鼓

【薩摩川内おどり太鼓】

和太鼓を通した子どもたちの健やかな育成を目指し、昭和58年に創立しました。2008年NHK大河ドラマ『篤姫』の挿入曲である「花書書く」のレコーディング参加をはじめ、毎年フランス・パリで開催されているイベント「Japan Expo」にもこれまでに3度出演し、海外へも活動の幅を広げています。2024年には「鹿児島県優良観光団体」にも選定されました。



- 大五日日程
- 9:00 開場・受付
 - 9:45 オリエンテーション
 - 10:00 開会式
 - 11:00 記念講演①
 - 12:45 記念行事
 - 13:40 記念講演②
 - 15:15 閉会式

- 申込・問い合わせ
- ・各教区教務所・沖繩宗務事務所へお申し込みください。
 - 主催：浄土真宗本願寺派九州地区仏教壮年会連盟
 - 担当：浄土真宗本願寺派鹿児島教区仏教壮年会連盟

- 交通アクセス
- ・鹿児島中央駅から
・タクシー・自家用車…約15分
・バス(東15番のりば)…約20分
 - ・鹿児島空港から
・タクシー・自家用車…約60分
・空港連絡バス…約1時間20分

- ・鹿児島I.C.から
・タクシー・自家用車…約20分
- ・天文館から
・タクシー・自家用車…約15分

川商ホールご案内





熊本教区教務所発第 161 号
2025(令和 7)年 8 月 13 日

単位代表者様

熊本教区教務所長
大辻子順紀



熊本教区仏教婦人会連盟委員長
小谷つゆみ



仏教婦人会連盟 夏の一日研修会開催について (ご案内)

謹啓

慈光のもと、貴職には益々ご健勝にてお念仏ご相続のことと拝察しお慶び申しあげます。また、平素より仏婦活動推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、年度計画に基づき、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の願いを受けとめ、浄土真宗のみ教えに生きる仏教婦人会会員として、どのように取り組むべきかを考えることを目的として、一日研修会を開催いたします。

つきましては、別紙開催要項の通りご案内いたしますので、お繰り合わせの上、仏教婦人会の皆様にご参加いただき、仏婦活動が更に活発に推進されますよう別紙の通りご案内申しあげます。

称名

熊本教区仏教婦人会連盟 夏の一日研修会 開催要項

1. 期 日 2025(令和7)年9月9日(火) 11:00~14:50
2. 会 場 熊本教区会館 2階大広間 (熊本市中央区坪井 2-3-32)
TEL 096-343-8283
3. 講義内容 念仏者にとっての戦争と平和
4. ワークショップ ハーバリウムを作ろう!
5. 講 師 ハーバリウム: 平塚真邦 師 (本願寺人吉別院副輪番)
講 義: 宇治和貴 師 (筑紫女学院大学教授)
6. 持 参 品 聖典・念珠・仏婦式章
7. 参 加 費 2,000円 (材料費・昼食費込み)
※教務所にて参加の方は、参加申込書に記入の上、
9月2日(火)迄に教務所までファックスまたは郵送で
お申込ください。



8. 日 程

① 10:30	受 付	⑤ 13:00	講 義
② 11:00	開 会 式	⑥ 14:10	質 疑 応 答
③ 11:10	ワ ー ク シ ョ ッ プ	⑦ 14:40	閉 会 式
④ 12:00	昼 食	⑧ 14:50	解 散 予 定



以 上

(切り取り線)

「夏の一日研修会」参加申込書

	氏 名
1	
2	
3	

以上 名申し込みます 組 寺